



札幌市立小中高校付近での放射線量測定

研究成果のポイント

- ・札幌市立小中高校沿いの公道上で放射線量を測定した。

研究成果の概要

福島第一原子力発電所における事故の発生以降、放射線に関する風評被害の発生が社会問題化しており、身近な場所での放射線量を調査し、公開することが重要になっています。そこで、8月23(火)～25日(木)の3日間に渡って札幌市立小中高校沿いの公道上で放射線量を測定しました。

その結果、放射線量は0.03～0.07 μ Sv/hとなり、平常時との違いは認められませんでした。

研究成果の概要

(背景)

福島第一原子力発電所における事故の発生以降、北海道においても観光や農漁業に関する風評被害等が発生し、社会問題化しています。また、特に子供に対して放射線が与える影響が危惧されており、身近な場所での放射線量を調査し、公開することが求められています。

そこで、札幌市立小中高校沿いの公道上約300地点で放射線量を測定しました。

(研究手法)

測定機器として日立アロカメディカル株式会社 γ サーベイメータ TCS-161 (NaI(Tl)シンチレーションサーベイメータ)を使用しました。測定機器が地上1mの高さになるよう固定し、自動車移動しながら測定を行いました。

(研究成果)

放射線量は0.03～0.07 μ Sv/hとなり、平常時との違いは認められませんでした。結果についてはホームページ上 (<http://www.jcprg.org/nrdfr/index.html>) で公開しています。

(今後への期待)

今後も継続して放射線量の測定を行い、情報提供を行う予定です。

お問い合わせ先

所属・職・氏名：北海道大学大学院理学研究院附属原子核反応データベース研究開発センター
センター長・教授 合川 正幸 (あいかわ まさゆき)

TEL: 011-706-3723 FAX: 011-706-3724 E-mail: aikawa@sci.hokudai.ac.jp

ホームページ: <http://www.jcprg.org/>